

【2023年度 FD・SD委員会 事業報告】(案)

委員長校 : 甲南大学

副委員長校: 神戸市看護大学

委員校: 芦屋大学、関西国際大学、関西学院大学、聖和短期大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、神戸薬科大学、頌栄短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫教育大学、兵庫県立大学 計24校

<目的>

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「3. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供」の推進に向けて、以下の取組課題について、事業推進を行う。

【取組課題⑥】大学教職員の研修機会の提供と交流の促進

教職員の資質を向上させることを目的とした研修の機会を継続的に提供する。県下の大学等高等教育機関の関係者に研修交流機会を提供することにより、相互の立場で具体的な施策に結びつく議論が行われる、闊達な意見交換の場を創出する。

以上の体制の構築並びに、必要な取り組みは本委員会にて実施する。

<内容>

1. 加盟校間でのFD・SDセミナーの公開

加盟校が自学で開講している多様な研修プログラムを加盟校に開放することにより、加盟校教職員に多様な研修・交流の機会を提供する。教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。

・「大学運営」に関する科目の受講支援等

2. FD・SD情報交換会、セミナー等の開催

加盟校に有益な公開セミナーを実施することで、教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。

・FD・SDトップセミナー等

以上の取組について、運営体制の構築と推進は、中長期計画Ⅱ期5ヵ年において段階的に取り組む。期中において新規事業やプロジェクト企画の必要性がある場合は、本委員会にて検討して事業推進を行う。

<期待される効果>

大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校教職員の資質向上に寄与し、加盟校の担当者間の情報交換・交流や加盟校間での人材交流を促進する場が提供できる。

課題⑥ 大学教職員の研修機会の提供と交流の促進		予算額
取組1	加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開	0円
取組2	FD・SD情報交換会、セミナー等の開催	500,000円

【2023年度 FD・SD委員会 事業報告(⑥取組1)】(案)

【⑥取組1】達成目標	各年セミナー5件以上
【⑥取組1】活動指標	参加者数100人以上/年

課題⑥	大学教職員の研修機会の提供と交流の促進
達成目標【⑥取組1-1】	大学間で研修プログラムを共有することで、多様な教職員の学びと交流の場を提供する。
課題を解決する取組概要【⑥取組1-1】	加盟校間でのFD・SDセミナーの公開
活動指標【⑥取組1-1】	参加者数100人以上/年

内容 (結果)	<p>「加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開」について、以下の通り計画・実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 情報収集 Webフォームにて、加盟校のFD・SDセミナー(学外公開可のもの)の情報収集を通年で行った。 情報提供 加盟校のFD・SDセミナーの情報について、大学コンソーシアムひょうご神戸よりメール周知ならびにホームページ上での公開等により情報共有を行った。 定期的な協力依頼 半年に1回程度、加盟校へのFD・SDセミナーの情報提供依頼を実施するなど、適宜、本取り組みへの理解と協力を求めた。 <p>【結果】2024年3月25日現在、8校21件の公開セミナーに対して、1,674名の参加があった。 詳細は以下の通り、学校名(50音順)・公開件数・開催日時・セミナー名・参加者数・内訳で明記。</p> <p>■大手前大学・大手前短期大学(1件) (1)2023年9月1日「ICT活用推進シンポジウム」174名(学内124名、加盟校1校1名、他大学5校6名、その他43名)</p> <p>■甲南大学(2件) (1)2023年11月29日「教育学習DXプロジェクトに関するFD・SD セミナー ～2023年度VRを用いた英語学習アクティビティの開発～」10名(学内9名、加盟校1校1名) (2)2024年3月7日「高等学校における探究学習に関するFD・SDセミナー」47名(学内35名、加盟校11校11名、その他1名)</p> <p>■関西学院大学(2件) (1)2023年8月31日「大学の授業と著作権について」173名(学内29名、加盟校11校24名、他大学81校118名、その他2名) (2)2024年3月21日「大学入学者選抜の過去・現在・未来」128名(学内45名、加盟校4校5名、他大学34校48名、その他30名)</p> <p>■神戸学院大学(9件) (1)2023年4月28日「学生を評価主体として育成するためのルーブリックの活用」55名(学内39名、加盟校10校15名、他大学1校1名) (2)2023年6月9日「自学自習を促すシラバス作成法」計28名(学内20名、加盟校6校6名、その他1校2名) (3)2023年7月7日「大学における人間関係と教員の役割」計34名(学内29名、加盟校4校4名、その他1校1名) (4)2023年9月4日 神戸学院大学薬学研究科主催令和5年度「知の創造セミナー」計54名(学内53名、その他1名) (5)2023年9月5日「これからの高大社接続を考える～アフターコロナの観点から～」計43名(学内38名、加盟校2校3名、他大学1校1名、その他1名) (6)2023年9月30日「専門職連携教育(Interprofessional Education) 5周年記念シンポジウム これからの専門職連携教育を考える」158名(学内150名、加盟校1校2名、その他6名) (7)2023年11月10日「ゼミ運営における学生同士の学びのプロセスと人間関係」27名(学内25名、加盟校2校2名) (8)2023年12月19日「データ活用人材を育てる ～いま、求められる文理融合型データサイエンス教育と大学必修化の背景～」40名(学内35名、加盟校5校5名) (9)2024年1月26日「知の創造セミナー」49名(学内48名、その他1名)</p> <p>■神戸松蔭女子学院大学(3件) (1)2023年8月7日「大学教育におけるPBLの開発に向けて」70名(学内64名、加盟校4校4名、他大学1校2名) (2)2023年9月8日「学生の主体的な学びを促す動画教材」62名(学内62名) (3)2023年9月8日「課題解決型授業から課題解決授業へ」64名(学内64名)</p> <p>■神戸親和大学(1件) (1)2023年8月24日「Chat GPT 等生成 AI の業務での利用について」139名(学内63名、加盟校15校76名)</p> <p>■神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部(1件) (1)2023年9月11日「これからの時代に応じた大学入試や大学改革の方向性を探る」122名(学内114名、加盟校6校8名)</p> <p>■兵庫大学(2件) (1)2023年11月8日「GIGA世代と大学教育に求められる変化」116名(学内113名、加盟校3校3名) (2)2024年3月7日「主体的に学ぶ学生を育てるために～ 授業と学習環境のデザイン ～」81名(学内75名、加盟校4校5名)</p> <p>3)FD・SDセミナーの実施内容に関するアンケートを実施。 引き続き、加盟校のニーズに合うセミナーの公開と、参画校の拡充に取り組む。 FD・SD研修において、他の加盟校と「共同研修」を行うことで効果が期待できそうなテーマやアイデアについて、アンケート実施。実施したいが、単独では実施が難しいテーマや人事研修(階層別・テーマ別)も含む。14校より回答があり、「内部質保証、IR、若手職員の勉強会」等に関する回答があった。</p>
------------	---

新しい試み等(事業計画に記載)	FD・SDセミナーの公開実施校が実績(参加者数)を報告する「実績報告フォーム」のWebフォームの入力項目を整理することで、自学以外の加盟校の参加状況を集約・報告しやすい形式に整えた。
-----------------	---

事業収支	収入	支出	収支	備考
	0円	0円	0円	

自己評価	【対到達目標】	4	【対継続性】	4
	前年度(2022)通年実績6校13件に対して、今年度は期中(10月末)で、すでに6校13件の情報提供があった。本取組についての加盟校での認知が広がり、一定のニーズがあると考えられるため、本プログラムは継続すべきと考える。			

■自己評価基準
(対到達目標)

4:当初計画を上回って達成
3:当初計画を達成
2:当初計画をやや下回った
1:当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

4:本プログラムは継続すべき
3:本プログラムは継続しても良い
2:本プログラムの継続には改善が必要
1:本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)	約半年間で活動指標・達成目標ともに達成されており、加盟校にも認知が広がっていることは評価できる。実施内容に関するアンケート結果から、今後も継続的に加盟校のニーズを踏まえたFD・SDへの取り組みを進めていきたい。
------------------------	---

【2023年度 FD・SD委員会 事業報告(⑥取組2-1)】(案)

【⑥取組2】達成目標	各年参加者数50名以上			
【⑥取組2】活動指標	FD・SDセミナー開催数3回以上/年			
課題⑥	大学教職員の研修機会の提供と交流の促進			
達成目標 【⑥取組2-1】	大学教育が直面している喫緊の課題に関する情報を共有することにより、高等教育改革推進に関する教職員の意欲を高める。			
課題を解決する 取組概要 【⑥取組2-1】	加盟校教職員を対象とした大学教育等に関する講演会等の開催			
活動指標 【⑥取組2-1】	開催数1回以上/年			
内容 (結果)	<p>大学教育等に関する講演会等の開催</p> <p>■セミナー名「いま一度整理しよう！令和4年度大学設置基準等の改正を学ぶ！」</p> <p>■日時：2023年9月6日(水)14:00～16:30</p> <p>■場所：甲南大学岡本キャンパス 1号館131講義室 ※加盟校職員以外は第1部オンライン参加のみ</p> <p>■講師：文部科学省高等教育局視学官(併)大学教育・入試課 課長補佐 中村 慎太郎 氏</p> <p>■内容：2022年10月より大学設置基準等の改正が実施されたが、改正内容への対応等に苦慮する大学も多々あることが想定されることから、基本的な改正要旨や概要から、主要授業科目、基幹教員、教職協働の促進などの個別テーマにも焦点をあてた講演と意見交換会を2部制で開催した。</p> <p>第1部：基調講演「令和4年度大学設置基準改正について」 講師の中村氏より、「1.グランドデザイン答申等について」「2.大学設置基準等の改正について」「3.今後の教職協働の在り方について」の3点に関する説明と、参加者からの事前質問に対する詳細な回答がなされた。加盟校を中心にオンライン参加を含めて全国各地から130名の参加があった。</p> <p>第2部：質疑応答・意見交換会 ※会場参加者のみ 講師の中村氏と加盟校教職員のみで、質疑応答及び意見交換を行った。自学の実情を踏まえた具体的な質問や日々の業務上での疑問点について、率直な意見交換が行われた。</p> <p>■参加者：総計130名(会場87名、オンライン43名) (内訳)加盟校21校75名 芦屋大学(1)・大手前大学・大手前短期大学(6)・関西学院大学(3)・甲南大学(28)・神戸学院大学(1)・神戸市外国語大学(5)・神戸市看護大学(3)・神戸松蔭女子学院大学(6)・神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部(1)・神戸親和大学(3)・神戸大学(3)・神戸薬科大学(1)・園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部(3)・兵庫大学・兵庫大学短期大学部(6)・兵庫教育大学(1)・兵庫県立大学(3)・流通科学大学(1) 非加盟校37校45名、国・自治体2名(文部科学省(1)・神戸市(1))、企業2団体・2名、コンソ事務局6名</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)	第一部は、オンラインと対面会場のハイブリッド形式で、時間的制約で参加できない加盟校教職員の参加機会を考慮し、広く内容を公開する形式で行った。また、加盟校の課題等を講師とダイレクトに忌憚なく相談できる機会を設けるため、第二部については対面参加の加盟校教職員のみとする形で実施した。			
事業収支	収入	支出	収支	備考
	500,000円	500,000円	0円	取組2-1、2-2 の合計
自己評価	【対到達目標】	4	【対継続性】	4
	<p>本セミナーの参加理由に、「大学運営にあたり改めて理解を深めたい」など、業務遂行上の必要性、実践的な学びを深めることへの関心があった。加盟校に限定した文部科学省担当者との対面での質疑応答では、「他大学様も本学と同じような疑問等を持っておられたので、大変勉強になった」等、加盟校でセミナーを実施する意義が伺えた。実施アンケートからも引き続き、「時宜を得たテーマを希望する」といった意見が挙がっており、本プログラムは継続すべきと考える。</p>			
	<p>■自己評価基準 (対到達目標)</p> <p>4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った</p>	<p>■自己評価基準 (対継続性)</p> <p>4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき</p>		
理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	大学運営に関わるテーマなど、加盟校が共通に抱える課題は、大学単独で行うよりもコンソーシアムで実施する意義があると考えられる。今後も継続して時宜を得たテーマで講演会等を実施いただきたい。加えて、加盟校教職員の交流促進も期待する。			

【2023年度 FD・SD委員会 事業報告(⑥取組2-2)】(案)

【⑥取組2】達成目標	各年参加者数50名以上			
【⑥取組2】活動指標	FD・SDセミナー開催数3回以上/年			
課題⑥	大学教職員の研修機会の提供と交流の促進			
達成目標 【⑥取組2-2】	事業終了時、受講者アンケート調査において、「自学の内部質保証活動にとって有益であった」との回答が平均70%以上であることを目指す。			
課題を解決する 取組概要 【⑥取組2-2】	加盟校教職員を対象とした内部質保証システム等に関するFD・SDセミナー等の開催			
活動指標 【⑥取組2-2】	FD・SDセミナー等開催数2回以上/年			
内容 (結果)	<p>「内部質保証システム」をテーマとしたFD・SDセミナーを開催し、加盟校での啓発活動を行うと共に、実務的な勉強会を実施予定である。</p> <p>【1件目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー内容:「中退予防におけるIR」 ・講師:白鳥 成彦 氏(嘉悦大学 経営経済学部 教授) ・開講日時:2024年2月20日(火)14:30~16:30 ・開催方法:甲南大学岡本キャンパス5号館523教室、オンライン(オンデマンド) <p>申込者参加者:64名(会場42名、オンライン22名) ※講師・事務局含む (加盟校:14校30名、非加盟校:26校30名、企業:1社2名、コンソ事務局2名) 加盟校内訳:14校30名 大手前大学・大手前短期大学(2)・関西学院大学(1)・甲南大学(16)・神戸大学(1)・神戸学院大学(2)・神戸国際大学(2)・神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部(1)・甲南女子大学(1)・神戸女学院大学(1)・姫路大学(1)・兵庫大学・兵庫大学短期大学部(2)</p> <p>【2件目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー内容:「内部質保証システムの実質化を考える～現場が動き出す!工夫と実践～」 ・講師: 高田 敏行 氏(独立行政法人大学改革支援・学位授与機構研究開発部 教授) 山咲 博昭 氏(広島市立大学 教育基盤センター講師/センター長補佐 (兼)大学評価・IRセンター講師(兼)理事長室副室長/理事補佐) ・開催日時:2024年3月11日(月)13:00~17:00 ・開催方法:甲南大学岡本キャンパス2号館2-41教室、オンライン(Zoom) <p>参加申込者:113名(会場24名、オンライン89名) ※講師・事務局含む (加盟校:16校26名、非加盟校:56校76名、企業・団体:7社9名、コンソ事務局2名) 加盟校内訳:16校26名 芦屋大学(1)・大手前大学・大手前短期大学(1)・関西国際大学(1)・関西学院大学(3)・甲南大学(5)・神戸大学(2)・神戸医療未来大学(1)・神戸学院大学(1)・神戸市看護大学(1)・神戸松蔭女子学院大学(1)・神戸親和大学(2)・兵庫大学・兵庫大学短期大学部(1)・兵庫県立大学(5)・流通科学大学(1)</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)	本年度当初に各校委員にテーマと講師候補者に関するアンケート調査を行い、そのニーズや意見を反映して加盟校教職員の知見や助言を生かしながら、テーマ・講師選定を行うことができた。			
事業収支	収入	支出	収支	備考
	500,000円	500,000円	0円	取組2-1、2-2 の合計
自己評価	【対到達目標】	4	【対継続性】	4
	現時点では(2023年10月31日)、本取組は計画通りに進んでおり、年初のアンケート回答からも内部質保証セミナーに関するニーズは一定数あると考える。また、加盟校教職員の中にもテーマに応じて、協力いただける状況が生まれているため、本プログラムは継続すべきと考える。			
■自己評価基準 (対到達目標)	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	■自己評価基準 (対継続性)	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき	
理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	認証評価等において、近年内部質保証が重視されている一方で、加盟校においては体制作りから実質化まで、苦慮されている現状があると思われる。単発のセミナー開催にとどまらず、継続的に加盟校に役立つセミナー等の開催並びに、教職員間の交流促進を図る仕組みを検討いただきたい。			

2023年度 FD・SD委員会 事業決算(案)

(単位:円)

	予算額	決算額	各プログラム 予算・決算						委員会 予算・決算			
			取組1			取組2						
			加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開			FD・SD情報交換会、セミナー等の開催			内訳	予算額	決算額	
			内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額				
収入	会費収入	600,000	584,825					500,000	500,000		100,000	84,825
	助成事業収入	0	0									
	受託事業収入	0	0									
	プログラム収入	0	0									
	雑収入	0	0									
	戻入金	0	0									
	計	600,000	584,825		0	0		500,000	500,000		100,000	84,825
支出	会議費	110,000	20,020				懇親会	100,000	20,020	会議費	10,000	
	旅費交通費	90,000	141,567				講師等交通費	80,000	139,447	旅費交通費	10,000	2,120
	通信運搬費	10,000	0							通信運搬費	10,000	
	消耗品費	30,000	0				消耗品費	20,000		消耗品費	10,000	
	新聞図書費	0	0									
	印刷製本費	0	64,578				資料コピー代		64,578			
	光熱水料費	0	0									
	賃借料	105,000	0				会場費等	80,000		賃借料	25,000	
	保険料	0	0									
	謝金	220,000	177,765				講師等謝金	220,000	177,765			
	租税公課	0	0									
	支払手数料	5,000	4,895							振込手数料	5,000	4,895
	諸会費	0	0									
	委託費	30,000	176,000				委託費		98,190	各プログラムHPに係る予備費	30,000	77,810
	人件費	0	0									
	接待交際費	0	0									
	支払支援金	0	0									
雑費	0	0										
計	600,000	584,825		0	0		500,000	500,000		100,000	84,825	

収入－支出	15,175
-------	--------